

第58期 決算データ分析資料

令和2年(2020)12月期 第3四半期

令和2年(2020)8月17日
プラネット南関東 稼働



トラスコ中山株式会社

令和2年(2020)10月29日発表

経営企画部 部長 兼 経理部 部長 中山 達也
経営企画・広報IR課長 片桐 武志
経営企画・広報IR課 平野 みのり

〒105-0004

東京都港区新橋四丁目28番1号

トラスコ フィオリートビル10F

TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp

資料目次

第58期 令和2年(2020)12月期 第3四半期

■トラスコ中山について

- P3 第58期 第3四半期トピックス
- P4 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について
- P5 業績予想修正について
- P6 【連結】会社概要

A■全社経営実績

- P7 ①【連結】経営成績
- P8 ②【親単体】経営成績
- P9 ③【連結】令和2年(2020)12月期
全社月次売上高／1日当たり売上高

B■販売実績

- P10 ①【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益
- P11 ②【連結】販売セグメント別月次売上高推移表
- P12 ③【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・
販売ルート別実績
- P13 ④【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数
- P14 ⑤【連結】ホームセンタールート得意先 上位10社取引高
- P15 ⑥海外子会社の経営成績
- P16 ⑦【親単体】令和2年(2020)12月期第3四半期 売上分析
- P17 ⑧【親単体】商品分類別売上実績
- P18 ⑨【親単体】令和2年(2020)12月期第3四半期 売上分析
(商品分類別)
- P19 ⑩【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績
- P20 ⑪【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

C■取組み状況

- P21 ①仕入先数及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数
- P22 ②【親単体】物流データ
- ③【親単体】システム稼働状況

D■財務等実績

- P23 ①【連結】販売費・一般管理費の主な増減内容
- P24 ②【連結】販売費・一般管理費
- P25 ③【連結】財務諸表
- P26 ④【連結】設備投資等の状況
- P27 ⑤令和2年(2020)度継続中の主な設備投資

E■今期以降の計画

- P28 ①経営計画

■参考資料■

- P29 ①株式情報
- P30 ②業界での指数比較
- P31 ③【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の計画(四半期)
- P32 ③【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の計画(累計)
- P33 ④会社データ
- P34 ⑤当社売上高指数・鋳工業生産指数

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

8月25日 「DX銘柄2020」「DXグランプリ2020」に選定！

経済産業省と東京証券取引所より「DX銘柄2020」「DXグランプリ2020」に当社を選定いただきました。DX銘柄、DXグランプリとは、中長期的な企業価値の向上や競争力強化に結び付く戦略的IT投資の促進に向けた取り組みの一環として、毎年経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する銘柄です。「DXグランプリ」は、デジタル時代を先導する企業として、銘柄選定企業の中から1社選定されます。



「がんばれ!!日本のモノづくり」
デジタル×メカと独創力で、日本のモノづくりに貢献します。

DX 銘柄 2020
「DX グランプリ 2020」受賞

日本のモノづくりを加速
デジタル(頭脳)とメカ(足腰)をフル活用し
製造現場の利便性向上を通じて、日本のモノづくりに貢献します。

2023年プロツール^{※1}在庫50万アイテム
在庫回転率ではなく「在庫ヒット率」の向上
^{※1}工業用鋼材の総額 ^{※2}ご注文のうちに売れた在庫から算出した比率 ^{※3}1.1%
(2023年7月現在)



トラスコAIオレンジレスキュー
「置き置き」ならぬ「置き置き」機能。前照、管理コスト、在庫内注の「Q」を実現します。



フェイスフォン
チャットアプリとオンライン通話の併用でお客様の利便性を向上します。



AutoStore (オートストア)
通路や天井空間を利用し高密度で収納！
入出庫の効率化・省人化を実現！
AutoStore 株式会社 (アメリカ)



Butler® (バトラー)
自走型搬送ロボットが棚を持ち上げ、
作業者の元へ移動してくれます。
GroupWing ヘルプデスク (ドイツ)



MRO ストッカー
「置き置き」ならぬ「置き置き」機能。前照、管理コスト、在庫内注の「Q」を実現します。



AI 見積「即答名人」
AIを活用して真正価格を瞬時に算出！
お客様への迅速な対応が実現します。



I-Pack (アイパック)
1 納期あたり 720 個の高速梱包出荷
と仕分けを同時進行で実現！
(SAS 株式会社)



SAS (サイラス・システムズ)
各フロアで行なっていた商品の移荷を
と仕分けを同時進行で実現！
(SAS 株式会社)

トラスコ中山株式会社
プロツール (工場用資材) 専門商社
http://www.trusco.co.jp/

2023年プロツール^{※1}在庫50万アイテム
在庫回転率ではなく「在庫ヒット率」の向上
^{※1}工業用鋼材の総額 ^{※2}ご注文のうちに売れた在庫から算出した比率 ^{※3}1.1%
(2023年7月現在)

DX グランプリ 2020
Digital Transformation

▲DX銘柄2020ロゴマーク



DX 銘柄 2020
Digital Transformation

▲DX銘柄2020ロゴマーク



DX グランプリ 2020
Digital Transformation

▲DXグランプリ2020
ロゴマーク

当社のDXに関する取り組み

デジタル(頭脳) × メカ(足腰)

をフル活用し、製造現場の利便性向上を通じて日本のモノづくりに貢献します。

AI見積「即答名人」

MRO ストッカー
〔置き工具〕

トラスコAI
オレンジレスキュー

Auto Store (オートストア)
高密度ロボット収納システム

Butler® (バトラー)
自走型搬送ロボット

I-Pack (アイパック)
高速梱包出荷ライン

受賞講評

- ①データを収集し、AI等を活用してデータを分析し独創力としてサービスに転換している。
- ②各施策をKPI化し、リアルタイムで経営判断に活用している。
- ③自社物流センターを持ち、デジタル技術との相性を活かし、持続的に進化させている。
- ④AIを活用したダイナミックプライシングなど(即答名人)が、生産性向上に寄与している。

代表取締役社長 中山哲也 受賞メッセージ

この度は「DX銘柄2020」「DXグランプリ2020」にご選定いただき、厚く御礼申し上げます。今回の受賞は当社にとって望外の栄誉でございます。

この受賞をきっかけに、デジタル力、物流力、在庫力をさらに強化し、モノづくりへの貢献度をより高めていきたいと思っております。

©2020 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved TRUSCO NAKAYAMA Investor Relations 3

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

令和2年1月1日～令和2年6月30日までの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の局面から転じ、令和2年7月1日～令和2年9月30日では停滞していた経済活動が再開に向かったことで景況感是最悪期を脱しました。しかしながら、感染再拡大への不安は残り、以前から続く米中貿易摩擦の影響も重なることで、景況感の水準は低調となっています。

国内のモノづくり現場においては、自動車産業を中心に生産が再開したものの、工場の稼働は依然低迷しており、設備投資も企業収益の悪化を受けて先送りや規模を縮小する動きが続いています。

このような環境下で当社は、設備投資計画の見直しを行い、不急の設備投資を先送りする一方で、モノづくり現場で必要とされる少量多品種の商品ニーズに的確にお応えするために、必要な設備投資を継続しました。

当社での取組みについて

当社におきましては第2四半期に引き続き、通勤の混雑を避ける時差勤務、営業車を活用した乗合い出社、自宅から一番近い拠点で勤務を行うことができる最寄り事業所勤務、在宅勤務等、可能な限り公共交通機関を利用せず、感染のリスクを最小限に出来るような取組みを行いました。

また当社では新型コロナウイルス感染症拡大は、従来の仕事の在り方、仕方などを見直すチャンスと捉えています。テレワークの促進、在宅勤務制度や従来の営業活動の見直しなどを随時行い、仕事を効率的に行えるような社内環境の整備も行って参ります。

業績予想修正について(令和2年10月29日発表)

令和2年(2020)12月期 業績予想の修正及び配当予想の修正を行いました。

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率(%)	前年増減率
売上高	2,258億49百万円～ 1,985億48百万円	2,119億65百万円	-	-	△3.9%
営業利益	126億40百万円～ 76億36百万円	110億48百万円	-	-	△19.9%
経常利益	130億00百万円～ 79億96百万円	114億12百万円	-	-	△19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89億52百万円～ 54億99百万円	78億50百万円	-	-	△18.3%
1株当たり当期純利益	135円75銭～ 83円39銭	119円04銭	-	-	△26円74銭

当社は、令和2年8月3日の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況下であることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び配当予想を下方修正の上、それぞれレンジ形式により開示していました。

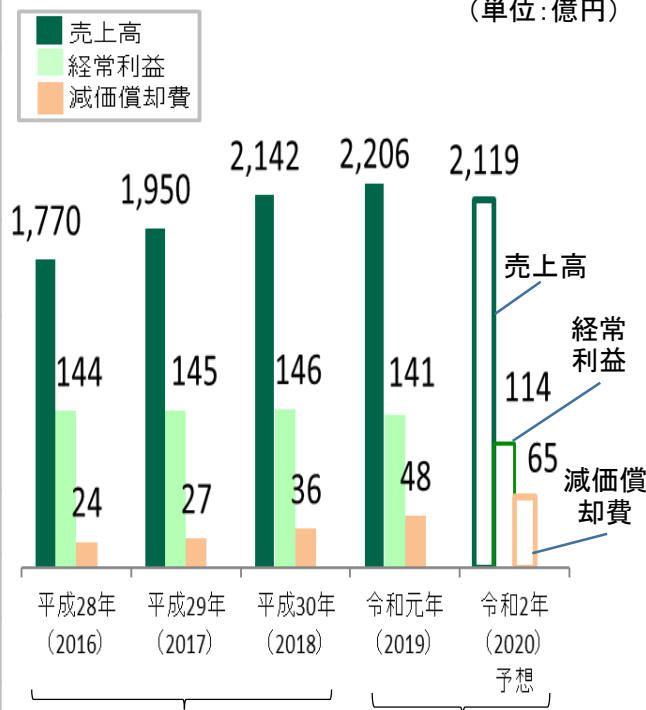
現時点においても新型コロナウイルス感染症による影響は見通しにくい状況下にありますが、企業の生産活動における状況や直近の当社の売上高の推移を鑑みて、令和2年12月期通期連結業績予想(令和2年1月1日～令和2年12月31日)について、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上記の通り修正します。

【連結】会社概要

令和2年(2020)9月末現在

➤売上高・経常利益・減価償却費の推移

(単位:億円)



【非連結】

【連結】

* 設備投資により、減価償却費が増加傾向。

創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計98か所 国内95か所:本社2か所、支店67か所、物流センター26か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア 駐在所:ドイツ(デュッセルドルフ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,813名(役員12名、社員1,692名、パート1,109名)
格付状況	A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

ビジネスフロー

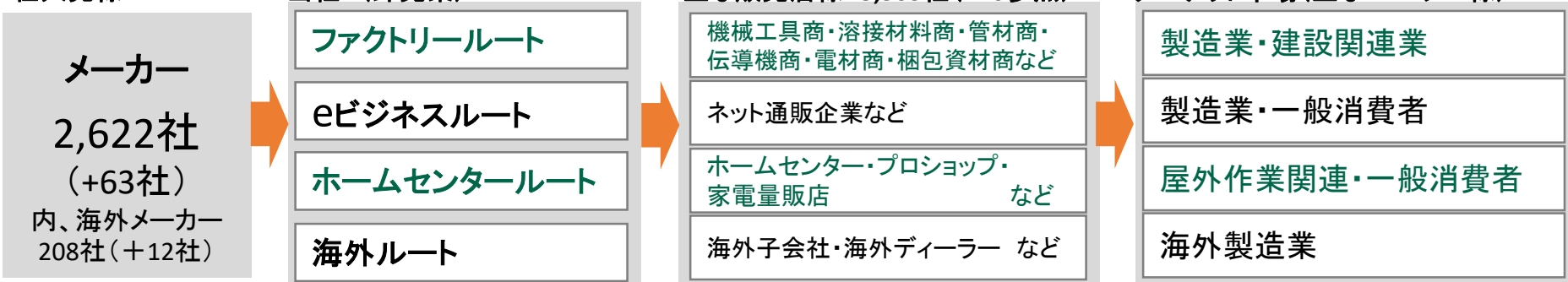
仕入先様

() 前年同期比

当社 (卸売業)

主な販売店様 5,503社(P20参照)

ターゲット市場(主なユーザー様)



A-① 【連結】経営成績

・連結の売上高 : 前年同期比△3.4%、予算比は△4.3%～+3.6%。営業日数は前年同期より4日増加しました。(営業日数・・・前期:174日、当期:178日)
※営業日数は親単体の営業日数
・連結の売上総利益率 : 21.7% 前年同期比+0.4pt 要因は下記①②によるものです。
⇒①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、粗利率の高いマスクなどの保護具のカテゴリの売上高が増加しました。(前年同期比+18.3%)
②eビジネスルートの売上高増加により、全体の売上総利益率が増加しました。(eビジネスルート詳細はP.13参照)
・販管費(前年同期比+5.1%) : 設備投資による減価償却費の増加、物流設備やシステムに係る支払手数料(保守点検費)の増加が主要因です。
社員残業代は減少傾向です。(販管費詳細はP.23～24参照)

令和元年(2019)12月期 第3四半期			令和2年(2020)12月期 第3四半期						
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前年 同期比 (%)	計画	構成比 (%)	計画差額	計画比 (%)
売上高	1,644億26百万円	-	1,587億53百万円	-	△3.4	1,658億35百万円～ 1,531億85百万円	-	△70億81百万円～ +55億68百万円	△4.3～ +3.6
売上 総利益	350億25百万円	21.3	344億91百万円	21.7	△1.5	356億43百万円～ 330億58百万円	21.5～ 21.6	△11億51百万円～ +14億33百万円	△3.2～ +4.3
販売費及び 一般管理費	250億64百万円	15.2	263億53百万円	16.6	+5.1	267億88百万円～ 264億47百万円	16.2～ 17.3	△4億34百万円～ △93百万円	△1.6～ △0.4
(うち減価償却費)	35億51百万円	2.2	47億23百万円	3.0	+33.0	46億51百万円	2.8～ 3.0	+72百万円	+1.6
営業利益	99億61百万円	6.1	81億38百万円	5.1	△18.3	88億55百万円～ 66億11百万円	5.3～ 4.3	△7億16百万円～ +15億27百万円	△8.1～ +23.1
経常利益	101億79百万円	6.2	84億59百万円	5.3	△16.9	91億49百万円～ 69億05百万円	5.5～ 4.5	△6億89百万円～ +15億54百万円	△7.5～ +22.5
親会社株主に帰 属する 四半期純利益	68億75百万円	4.2	57億14百万円	3.6	△16.9	62億29百万円～ 46億81百万円	3.8～ 3.1	△5億14百万円～ +10億33百万円	△8.3～ +22.1
1株当たり 四半期純利益	104円27銭	-	86円66銭	-	-	94円46銭～ 70円98銭	-	△7円80銭～ +15円68銭	-

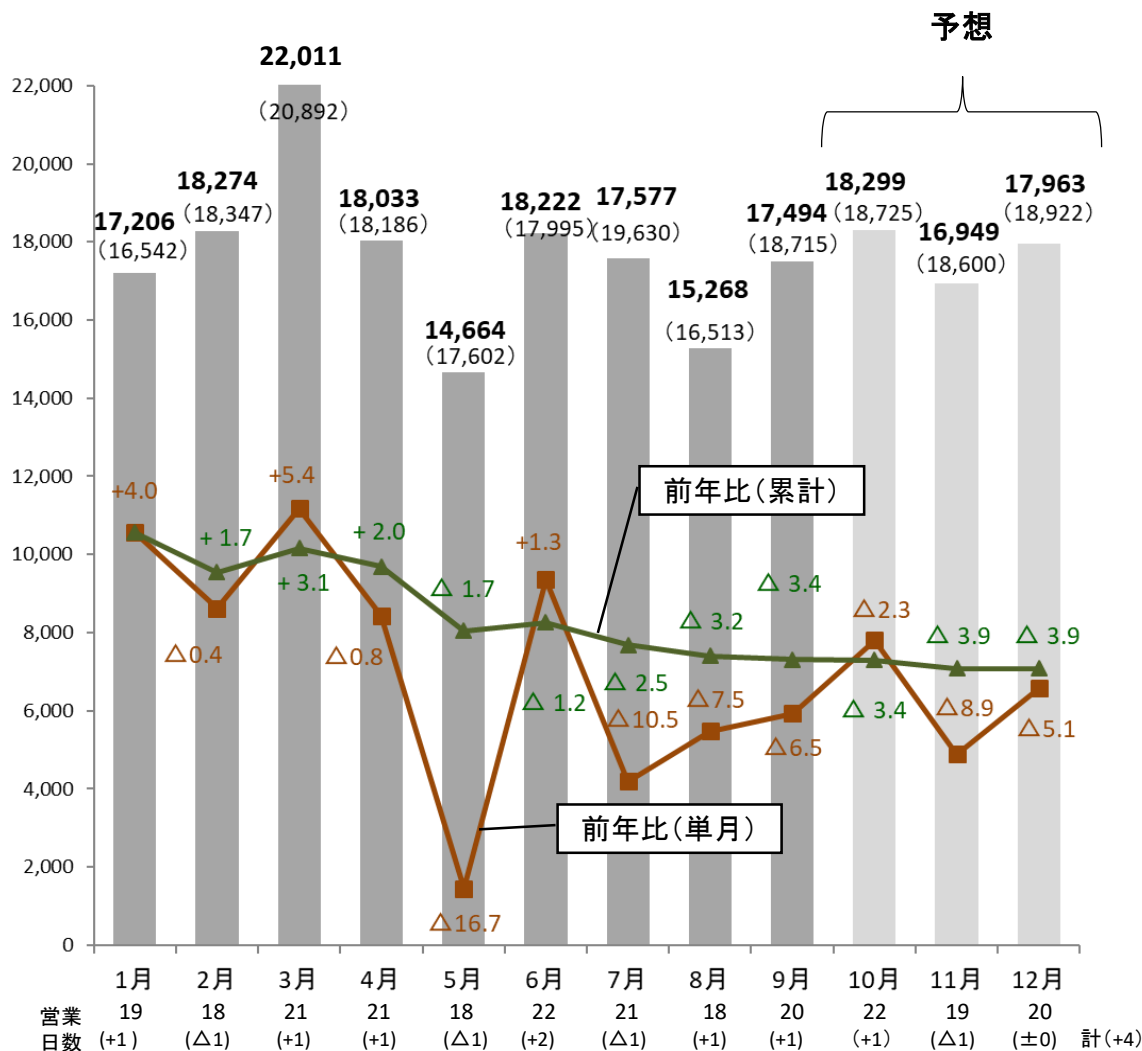
A-② 【親単体】経営成績

	令和元年(2019)12月期 第3四半期		令和2年(2020)12月期 第3四半期						
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前年 同期比 (%)	計画	構成比 (%)	計画差額	計画比 (%)
売上高	1,642億05百万円	—	1,586億66百万円	—	△3.4	1,657億13百万円～ 1,530億63百万円	—	△70億46百万～ +56億03百万円	△4.3～ +3.7
売上 総利益	348億55百万円	21.2	343億88百万円	21.7	△1.3	355億17百万円～ 329億32百万円	21.4～ 21.5	△11億29百万～ +14億56百万円	△3.2～ +4.4
販売費及び 一般管理費	248億54百万円	15.1	261億59百万円	16.5	+5.3	265億82百万円～ 262億40百万円	16.0～ 17.1	△4億22百万円～ △81百万円	△1.6～ △0.3
(うち減価償却費)	34億98百万円	2.1	46億72百万円	2.9	+33.6	46億51百万円	2.8	+21百万円	+0.5
営業利益	100億01百万円	6.1	82億28百万円	5.2	△17.7	89億35百万円～ 66億91百万円	5.4～ 4.4	△7億07百万円～ +15億37百万円	△7.9～ +23.0
経常利益	102億20百万円	6.2	85億20百万円	5.4	△16.6	92億23百万円～ 69億79百万円	5.6～ 4.6	△7億03百万円～ +15億40百万円	△7.6～ +22.1
四半期 純利益	69億19百万円	4.3	57億72百万円	3.6	△16.6	62億93百万円～ 47億44百万円	3.8～ 3.1	△5億20百万円～ +10億28百万円	△8.3～ +21.7
PB 売上高	332億29百万円	20.2	312億84百万円 PB商品詳細 P.20	19.7	△5.9	331億69百万円～ 306億08百万円	20.0～ 20.0	△18億85百万～ +6億76百万円	△5.7～ +2.2
1株当たり 四半期純利益	104円93銭	—	87円54銭	—	—	95円43銭～ 71円95銭	—	△7円89銭～ +15円59銭	—

A-③【連結】令和2年(2020)12月期 全社月次売上高/1日当たり売上高

■全社合計

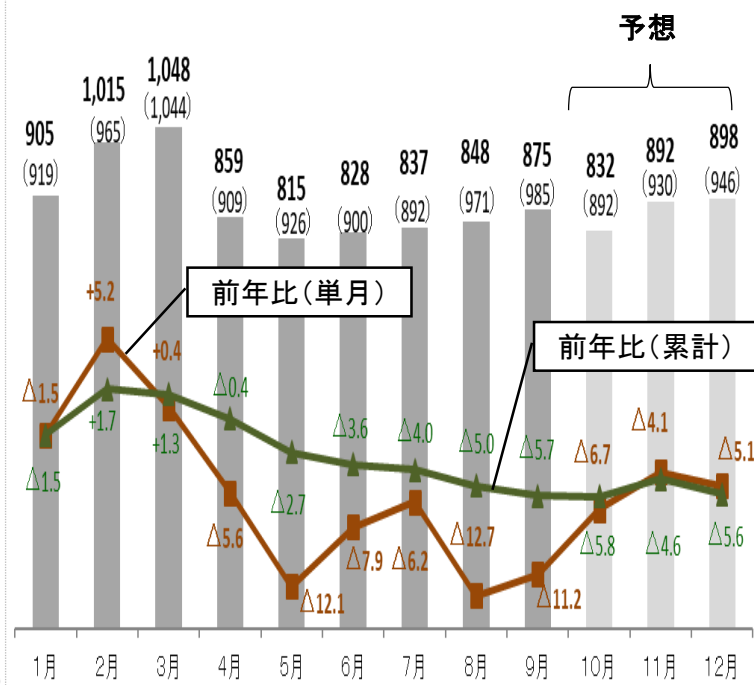
() 前年同月売上高(百万円)



■全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。
また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。
実績は親会社の営業日数で算出しています。

() 前年同月1日当たり売上高(百万円)



B-① 【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

■販売セグメント別 連結売上高

	令和元年(2019)12月期 第3四半期				令和2年(2020)12月期 第3四半期										
	売上高		売上 総利益率	経常利益	売上高							売上総利益率		経常利益	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	実績	構成比	前年増加額	前年 同期比	計画	計画差額	計画比	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比
ファクトリー ルート	1,272億95百万円	77.4%	20.8%	78億84百万円	1,166億74百万円	73.5%	△106億21百万円	△8.3%	1,237億38百万円～ 1,140億87百万円	△70億63百万円～ +25億87百万円	△5.7%～ +2.3%	21.2%	+0.4pt	58億03百万円	△26.4%
eビジネス ルート	254億73百万円	15.5%	25.1%	23億10百万円	286億12百万円	18.0%	+31億39百万円	+12.3%	290億72百万円～ 268億56百万円	△4億59百万円～ +17億56百万円	△1.6%～ +6.5%	25.5%	+0.4pt	23億76百万円	+2.9%
ホームセンター ルート	105億82百万円	6.4%	17.5%	△21百万円	125億80百万円	7.9%	+19億98百万円	+18.9%	120億10百万円～ 114億20百万円	+ 5億70百万円～ +11億60百万円	+4.7%～ +10.2%	17.7%	+0.2pt	1億89百万円	-
海外 ルート	10億74百万円	0.7%	31.9%	△1億42百万円	8億86百万円	0.6%	△1億88百万円	△17.6%	10億13百万円～ 8億21百万円	△1億27百万円～ +65百万円	△12.6%～ +7.9%	30.3%	△1.6pt	△1億75百万円	-
全社合計	1,644億26百万円	100%	21.3%	101億79百万円	1,587億53百万円	100%	△56億72百万円	△3.4%	1,658億35百万円～ 1,531億85百万円	△70億81百万円～ +55億68百万円	△4.3%～ +3.6%	21.7%	+0.4pt	84億59百万円	△16.9%

■ファクトリールート 前年同期比: △8.3%

緊急事態宣言後の市況は回復傾向にあるものの、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、業界全体の景況感及び設備投資は引き続き停滞しています。また梅雨明けが遅れた影響で、夏物商材の販売に苦戦しました。(12ページ参照)

■eビジネスルート 前年同期比: +12.3%

内訳は、通販企業様向けが前年同期比+14.3%、電子購買連携企業様向けが前年同期比+5.9%です。(13ページ参照)
一部の通販企業様において景況感の影響により売上の減速がみられるものの、取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染症拡大の巣ごもり効果により、主にBtoCの通販企業様への受注が増加し、依然として売上高は拡大傾向にあります。

■ホームセンタールート 前年同期比: +18.9%

巣ごもり効果によるDIY需要の増加、他社からの仕入先変更による売上高増加など、主力のホームセンター様とのお取引が好調に推移しました。またプロショップ様への売上高拡大も継続しています。(14ページ参照)

■海外ルート 前年同期比: △17.6%

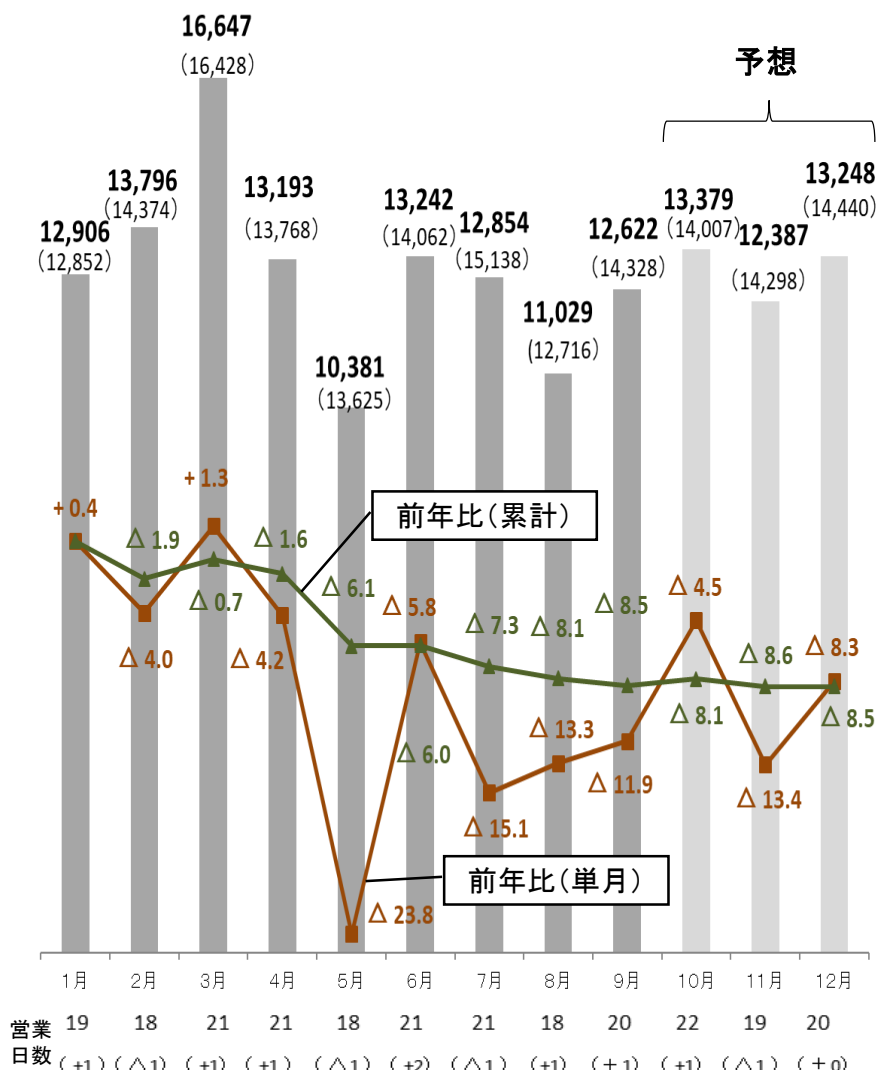
タイ、インドネシアでも自動車産業を中心とした減産による売上減速が見られました。全体の業績に与える影響は軽微であるものの、引き続き既存のお客様との取組強化、新規開拓を積極的行います。(15ページ参照)

B-② 【連結】販売セグメント別月次売上高推移表

() 前年同月売上高

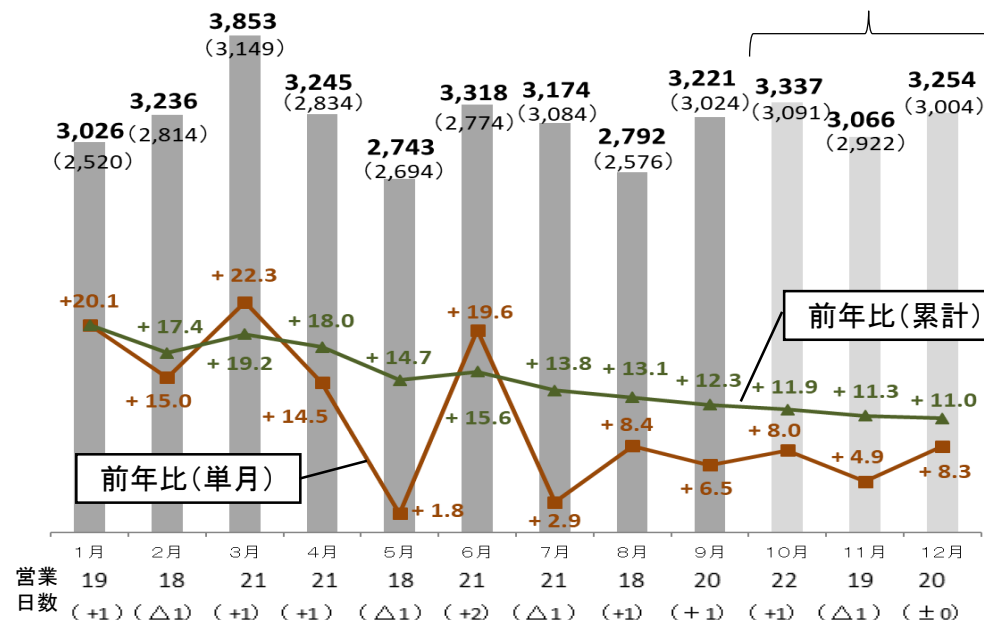
【ファクトリールート月次売上高推移表

() 前年同月売上高



【eビジネスルート月次売上高推移表

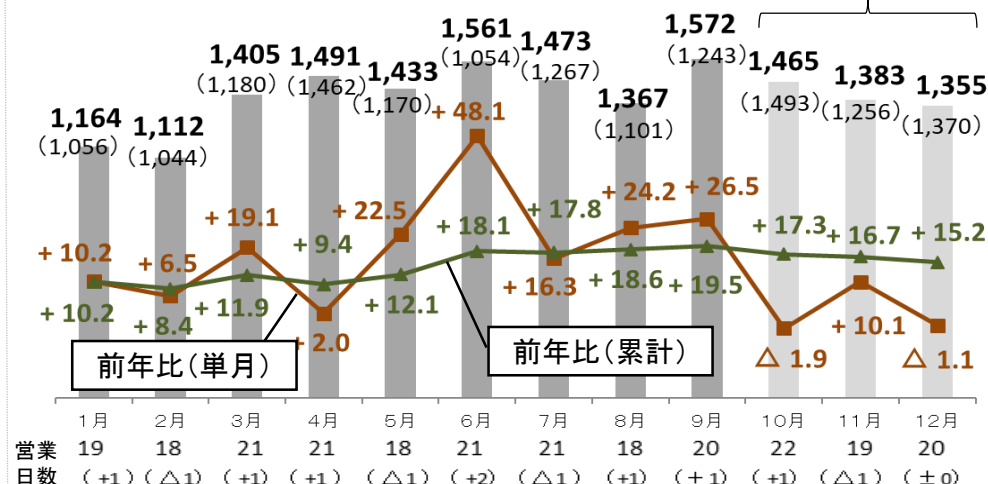
予想



【ホームセンタールート月次売上高推移表

() 前年同月売上高

予想



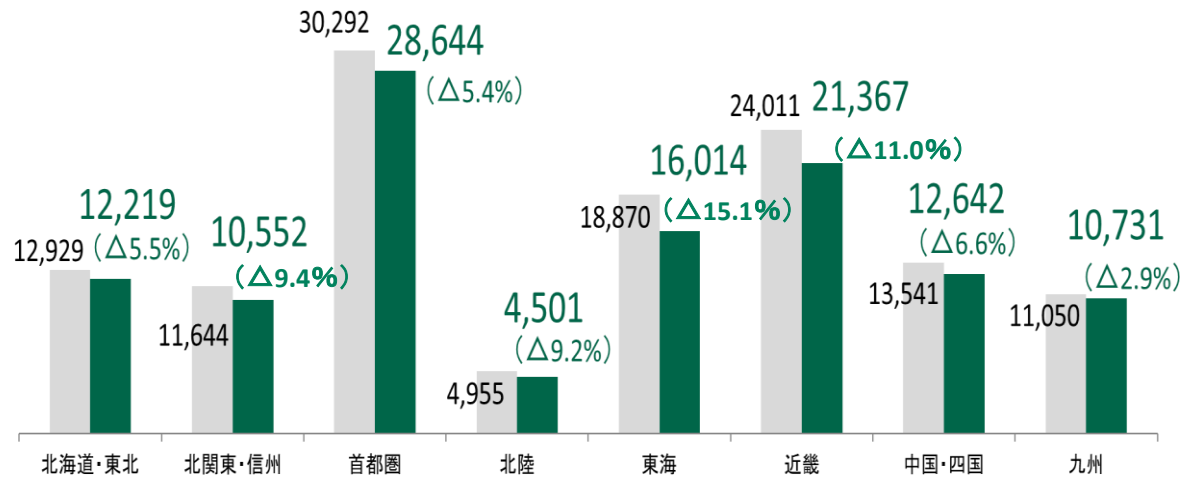
B-③ 【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績

■ファクトリールートブロック別売上高

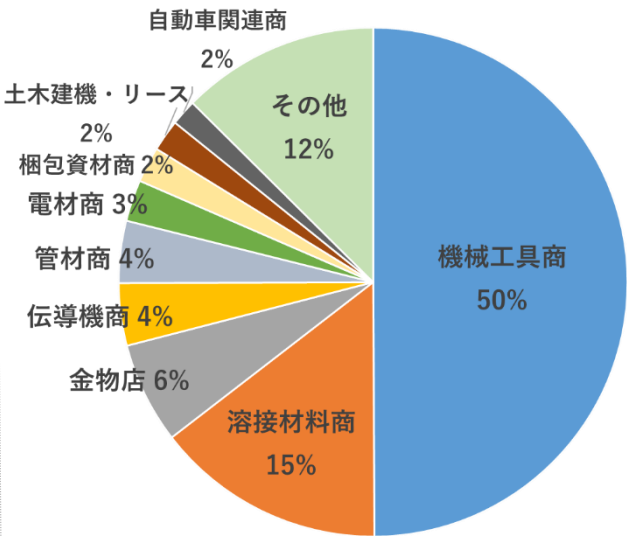
■ R1 (2019)3Q Fルート売上高(百万円)

■ R2 (2020)3Q Fルート売上高(百万円)

() 前年同期比



■ファクトリールート業種別売上高構成比



■ファクトリールート販売ルート別売上高

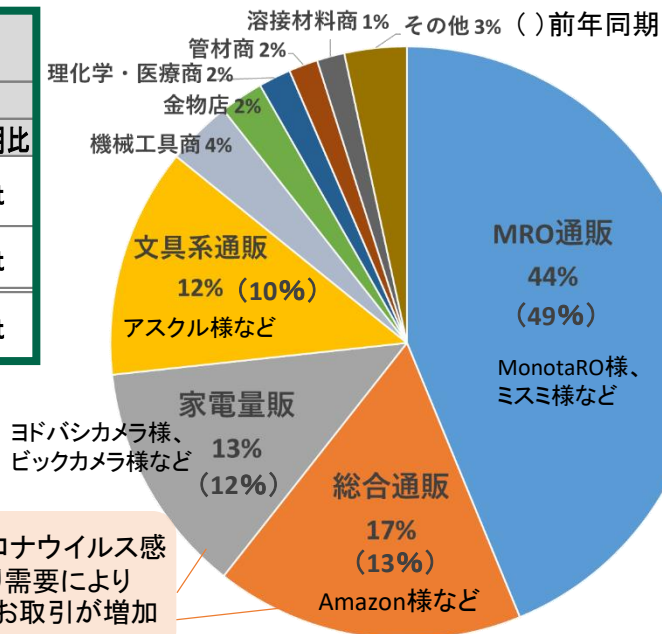
販売ルート	令和元年(2019)12月期 第3四半期			令和2年(2020)12月期 第3四半期						
	売上高		売上 総利益率	売上高				売上 総利益率		
	実績	構成比		実績	構成比	前年 同期比	計画	計画比	実績	前年 同期比
機械工具商	661億26百万円	52.0%	20.6%	583億05百万円	50.0%	Δ11.8%	640億80百万円～ 590億82百万円	Δ9.0% ～Δ1.3%	20.6%	Δ0.0pt
溶接材料商	182億27百万円	14.3%	21.3%	170億72百万円	14.6%	Δ6.3%	178億61百万円～ 164億68百万円	Δ4.4% ～+3.7%	22.0%	+0.7pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	204億30百万円	16.0%	20.5%	191億10百万円	16.4%	Δ6.5%	199億79百万円～ 184億20百万円	Δ4.3% ～+3.7%	21.2%	+0.8pt
建設関連	225億10百万円	17.7%	21.2%	221億85百万円	19.0%	Δ1.4%	218億16百万円～ 201億14百万円	+1.7% ～+10.3%	22.0%	+0.8pt
ファクトリールート合計	1,272億95百万円	100.0%	20.8%	1,166億74百万円	100.0%	Δ8.3%	1,237億38百万円～ 1,140億87百万円	Δ5.7% ～+2.3%	21.2%	+0.4pt

B-④ 【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数

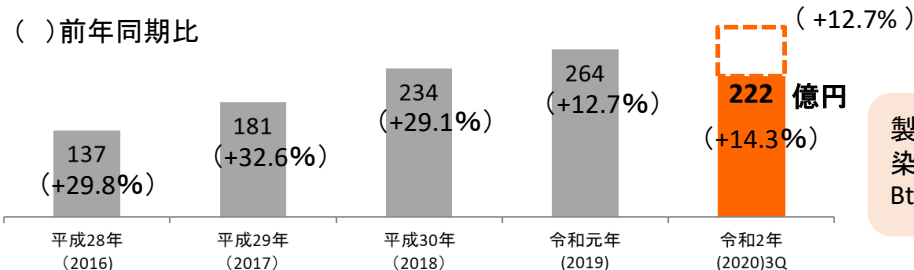
■eビジネスルート売上高

販売ルート	令和元年(2019)12月期 第3四半期		令和2年(2020)12月期 第3四半期				
	売上高		売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比
通販企業向け	194億76百万円	76.5%	222億63百万円	77.8%	+14.3%	24.8%	+0.4pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け	59億97百万円	23.5%	63億49百万円	22.2%	+5.9%	28.1%	+0.9pt
eビジネスルート合計	254億73百万円	100.0%	286億12百万円	100.0%	+12.3%	25.5%	+0.4pt

■通販企業向け売上高 業種別売上高比率

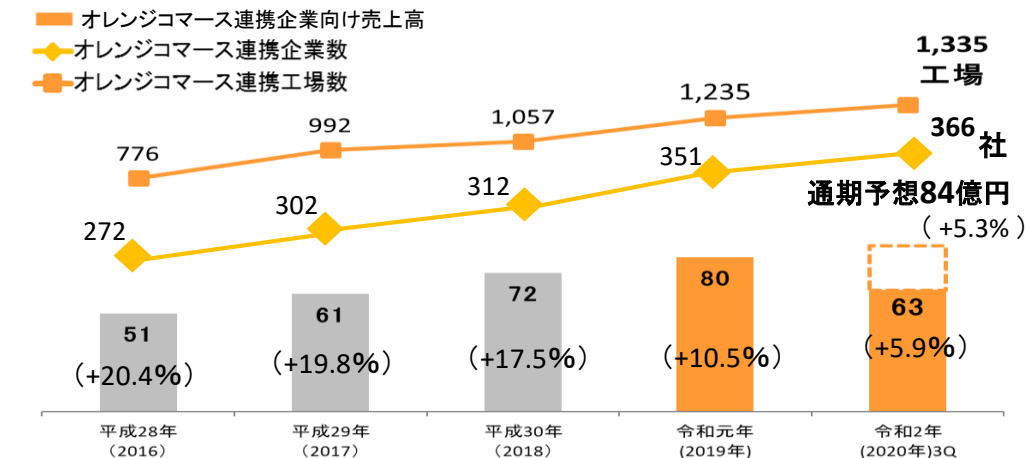


■通販企業向け売上高 (億円)



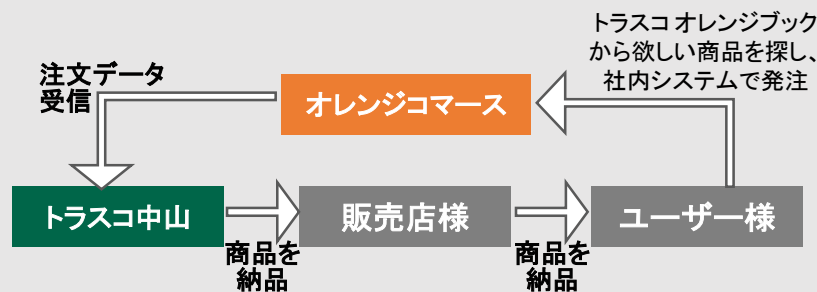
製造業の減速、新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり需要によりBtoCの通販企業様とのお取引が増加

■オレンジコマース(電子購買)連携数推移 () 前年同期比



■電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムが連携し、物流は販売店様との三社間で行います。

B-⑤ 【連結】ホームセンタールート上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター様各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ様・資材館のあるホームセンター様との取組を強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

■ホームセンター得意先別売上高

単位: 百万円、%

順位	得意先名	令和元年 (2019)12月期 第3四半期	令和2年 (2020)12月期 第3四半期	前年同期比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	1,443	1,553	+ 7.6
2	(株)ナフコ	1,104	1,398	+ 26.6
3	コーナン商事(株)	915	1,352	+ 47.7
4	(株)カインズ	790	1,010	+ 27.8
5	DCMカーマ(株)	881	996	+ 13.1
6	ロイヤルHC(株)	950	986	+ 3.7
7	DCMホームマック(株)	849	886	+ 4.3
8	(株)島忠	614	729	+ 18.6
9	(株)コメリ	414	525	+ 26.8
10	DCMダイキ(株)	422	498	+ 17.8
10社合計		8,388	9,936	+ 18.5
HCルート売上合計		10,582	12,580	+ 18.9
10社のルート売上占有率		79.3	79.0	△ 0.3

新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり効果でホームセンター様への客足が増加したことにより、売上高が増加しました。また当社から調達いただける商品アイテム数が増加したことにより、売上高が好調に推移しています。またホームセンター様は、ネットと店舗を融合させ、来店客へのサービスを向上させるという取組をされており、当社の在庫を便利にご利用いただいています。

■DCM ホールディングスへの売上高
合計: 4,384百万円 (前年比+9.3%)
(DCMホダカ(株)、DCMカーマ(株)、DCMホームマック(株)、DCMダイキ(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ケーヨー、DCM ONLINE)

■プロショップ様向けの売上高
合計: 1,746百万円 (前年同期比: +11.1%)
(プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。
当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。)

各企業名の敬称を省略しております。

B-⑥ 海外子会社の経営成績

■海外子会社の累計実績

令和2年(2020)12月期 第3四半期

単位:百万円

		売上高	売上 総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
内)トラスコナカヤマ タイランド 1バーツ=3.34円 (前年3.53円)	実績	409	98	109	△11	△11	△11
	率	—	24.0%	26.7%	—	—	—
	前年 同期比	△28.1%	△29.5%	+3.2%	—	—	—
内)トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0071円 (前年0.0076円)	実績	152	30	84	△53	△43	△43
	率	—	20.3%	55.3%	—	—	—
	前年 同期比	△15.5%	△33.0%	△18.9%	—	—	—

タイ、インドネシアにおいては市場のニーズに即した在庫拡充を進めることで、得意先様の利便性向上に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイでは非常事態宣言の再延長、インドネシアでも大規模社会制限の再強化が実施されています。工場の稼働停止や生産調整が行われ、売上高は低調に推移しました。今後は得意先様との深耕をより深めるため、必要在庫の積み増しや通販企業様向けに商品データベースの整備、仕入先様の代理店権獲得等に取り組めます。

トラスコナカヤマ タイランド	2010年9月設立
トラスコナカヤマ インドネシア	2014年12月設立

【参考】親会社におけるその他海外地域の売上累計実績

令和2年(2020)12月期 第3四半期

単位:百万円

		売上高	売上 総利益
その他海外地域への売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	324	80
	率	—	25.0%
	前年 同期比	△0.1%	+8.5%

B-⑦ 【親単体】令和2年(2020)12月期第3四半期 売上分析

■令和2年(2020年)12月期第3四半期業績推移

(単位:百万円)

5,539百万円減少

令和元年(2019)
12月期 3Q

164,205

新型コロナウイルス感染症
関連需要

+3,227

取扱商品の増加等による
需要増加分

+1,472

工場の稼働減少による
減少額

△10,238

令和2年(2020)
12月期 3Q

158,666
(△3.4%)

《主な内訳》

【新型コロナウイルス感染症関連需要】+3,227百万円

- ・保護具(マスク、保護服、手袋等) : +2,488百万円
- ・研究管理用品(消毒、洗浄剤等) : +474百万円
- ・オフィス雑貨(手洗い用品等) : +314百万円

【取扱商品の増加等による需要増加分】+1,472百万円

- ・化学製品(接着剤、グリス等) : +570百万円
- ・工事用品(発電機、ポンプ、シート等) : +365百万円
- ・文具用品、印刷品(テープ、オレンジブックJr.等) : +82百万円

【工場の稼働減少による減少額】△10,238百万円

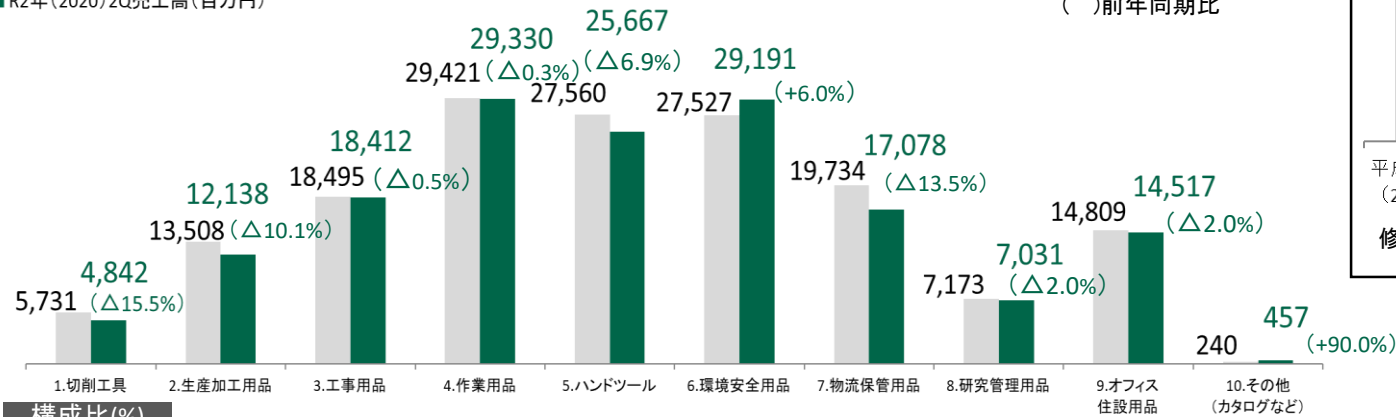
- ・物流保管用品(運搬、コンテナ、スチール棚等) : △2,656百万円
- ・切削工具、生産加工用品(超硬工具、ボール盤等) : △2,259百万円
- ・ハンドツール(空圧工具、電動工具等) : △1,238百万円
- ・環境安全用品(冷暖房用品、集塵機、物置等) : △824百万円

など

B-⑧ 【親単体】商品分類別 売上実績

Ⅰ大分類別売上高グラフと中分類内訳

■ R1年(2019)2Q売上高(百万円)
■ R2年(2020)2Q売上高(百万円)

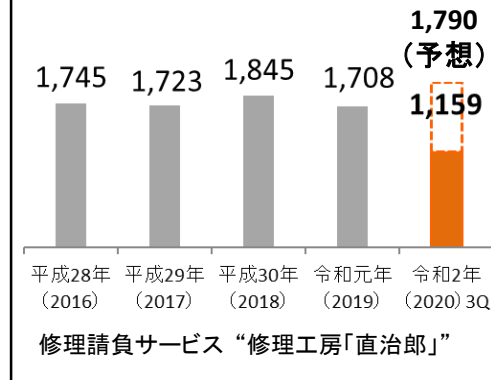


構成比(%)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
1.切削工具	① 切削工具	2,180	1.4	△19.8	11.7	6.環境安全用品	㉕ 保護具	16,065	10.1	+18.3	26.6
	② 穴あけ・ネジきり工具	2,661	1.7	△11.6	21.5		㉖ 安全用品	6,713	4.2	△1.5	25.8
2.生産加工用品	③ 測定計測	6,287	4.0	△6.7	16.7		㉗ 環境改善用品	1,402	0.9	△10.8	20.7
	④ メカトロニクス	2,543	1.6	△7.7	15.7		㉘ 冷暖房用品	2,998	1.9	△14.2	20.1
	⑤ 工作機工具	1,516	1.0	△21.0	23.6		㉙ 防災・防犯用品	649	0.4	△2.7	21.5
	⑥ 電動機械	1,791	1.1	△14.4	11.4		㉚ 物置・エクステリア用品	1,362	0.9	△2.4	16.5
3.工事用品	⑦ 油圧工具	1,368	0.9	△7.8	11.8	7.物流保管用品	㉛ 荷役用品	5,035	3.2	△8.8	17.4
	⑧ ポンプ	2,403	1.5	△4.1	16.3		㉜ コンベヤ	819	0.5	△14.3	16.5
	⑨ 溶接用品	1,469	0.9	△0.9	18.3		㉝ 運搬用品	6,201	3.9	△19.0	22.8
	⑩ 塗装・内装用品	1,706	1.1	△0.7	25.7		㉞ コンテナ・容器	2,532	1.6	△8.2	30.7
	⑪ 土木建築	1,895	1.2	+23.9	12.1		㉟ ステール棚	2,489	1.6	△12.3	26.9
	⑫ はしご・脚立	2,171	1.4	△8.9	22.7	8.研究管理用品	㊱ ツールワゴン	674	0.4	△16.9	28.7
	⑬ 配管・電設資材	2,521	1.6	△1.6	23.6		㊲ 保管・管理用品	845	0.5	△19.0	32.4
	⑭ 部品・金物・建築資材	4,875	3.1	+1.0	28.3		㊳ 作業台	987	0.6	△12.2	28.2
4.作業用品	⑮ 切断用品	979	0.6	△3.9	23.0		㊴ ステンレス用品	1,304	0.8	△10.0	18.3
	⑯ 研削・研磨用品	5,023	3.2	△7.8	23.5	9.オフィス住設用品	㊵ 研究開発関連用品	3,219	2.0	+17.3	20.9
	⑰ 化学製品	14,896	9.4	+4.0	22.1		㊶ 清掃用品	4,238	2.7	△2.3	22.9
	⑱ 工場雑貨	2,795	1.8	+6.1	16.2		㊷ 文具用品	1,479	0.9	+5.9	19.3
	⑲ 梱包結束用品	3,663	2.3	△4.9	31.5		㊸ オフィス雑貨	2,236	1.4	+16.3	27.3
	⑳ キャスター	1,972	1.2	△7.8	18.1		㊹ 電化製品	2,368	1.5	△9.0	23.0
5.ハンドツール	㉑ 電動工具・用品	6,931	4.4	△6.8	14.7		㊺ OA事務用機器	1,266	0.8	+1.6	26.4
	㉒ 空圧工具用品	4,318	2.7	△14.6	18.4		㊻ 事務用家具	2,725	1.7	△11.6	24.4
	㉓ 手作業工具	13,072	8.2	△4.6	22.2		㊼ インテリア用品	201	0.1	△6.8	20.1
	㉔ 工具箱	1,343	0.8	△2.3	29.8	10.その他	㊽ 全体	457	0.3	+90.0	-95.4
合計		158,666	100.0	△3.4	21.7						

(単位：百万円、%)

Ⅱ修理品売上高(百万円)

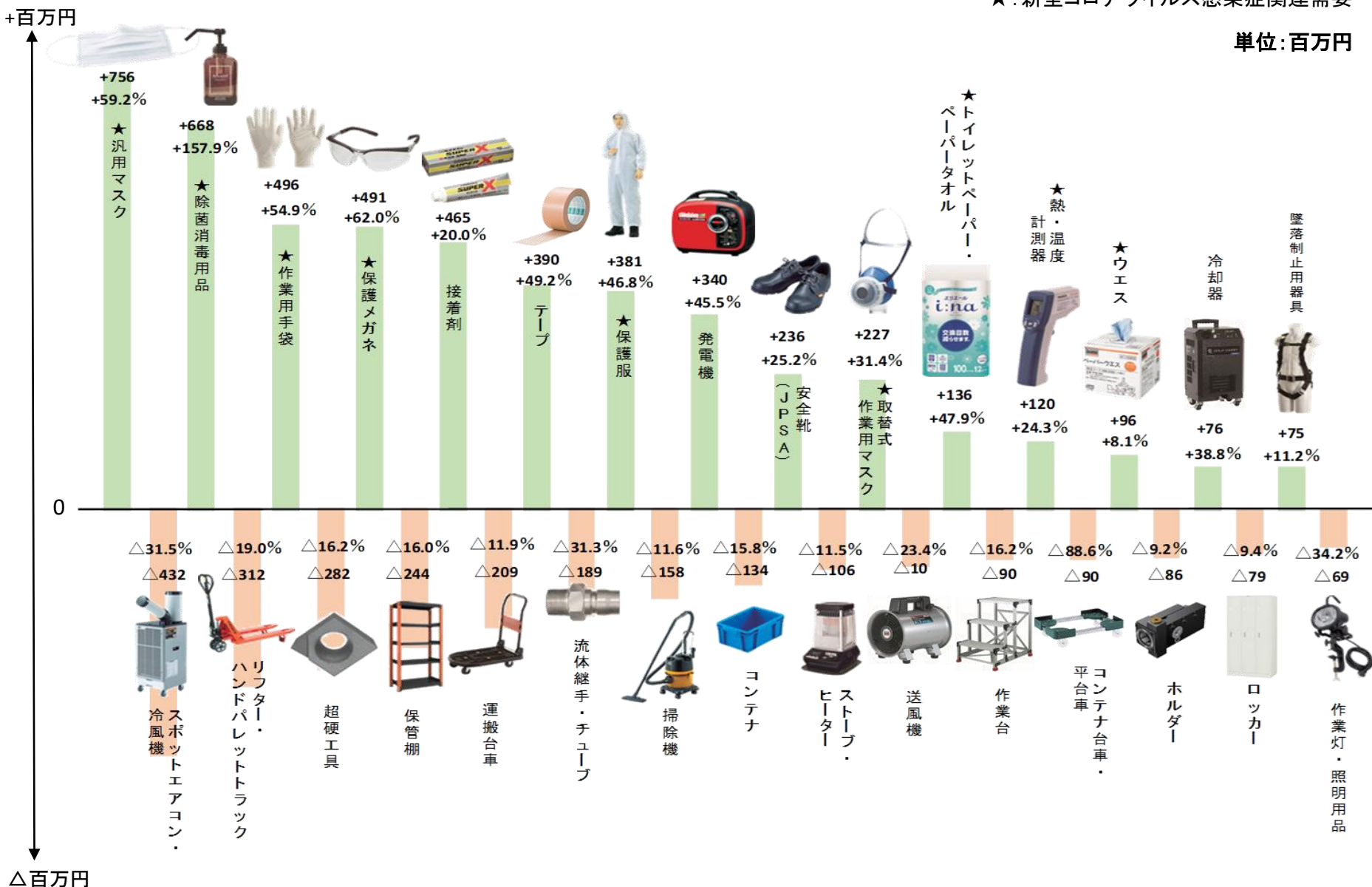


B-⑨ 【親単体】令和2年(2020)12月期第3四半期 売上分析(商品分類別)

■令和2年(2020年)12月期第3四半期 商品別増減グラフ

★:新型コロナウイルス感染症関連需要

単位:百万円



B-⑩ 【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

トラスコ オレンジブック掲載商品カテゴリ別売上高

商品分類別売上高をトラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別に分類し、表記しています。

分類	売上高	前年同期比(%)	分類	売上高	前年同期比(%)	分類	売上高	前年同期比(%)
1.切削工具	52億01百万円	△14.2	9.手作業工具	119億38百万円	△4.1	17.搬送機器	61億83百万円	△19.8
2.工作機工具	17億65百万円	△24.0	10.電動・油圧・空圧工具	151億00百万円	△9.7	18.清掃・衛生用品	89億73百万円	+7.6
3.測定・計測用品	67億51百万円	△7.0	11.保護具	169億07百万円	+19.6	19.環境改善用品	67億45百万円	△8.0
4.メカトロ部品	21億65百万円	△0.2	12.安全用品	34億85百万円	△7.3	20.園芸用品	13億62百万円	+7.5
5.金物・建築資材	55億45百万円	△2.2	13.梱包用品	100億37百万円	+3.5	21.オフィス・住設用品	73億41百万円	△4.7
6.空圧用品	32億34百万円	△10.4	14.工事・照明用品	151億03百万円	△2.8	22.研究用品	37億34百万円	△3.9
7.電子機器	27億90百万円	△0.2	15.荷役用品	57億39百万円	△8.9			
8.化学製品	97億00百万円	+2.5	16.物流・保管用品	88億93百万円	△11.5			

お客様の利便性を高めるツール

トラスコ
オレンジブック

TRUSCO モノづくり大辞典
オレンジブック



モノづくり現場で必要とされるあらゆるプロツールを掲載しているカタログ。紙カタログの見やすさとWEBの携帯性・検索性を融合した「トラスコ デジタルオレンジブック」も提供しています。

掲載商品数: 約440,000アイテム(2020年版)
掲載メーカー数: 1,776社
総ページ数: 16,728ページ
年間発行部数: 210,000部
サイズ: A4判(B5判から変更)

トラスコ
オレンジブック.Com

TRUSCO
オレンジブック.Com
工場・作業現場のプロツール総合サイト

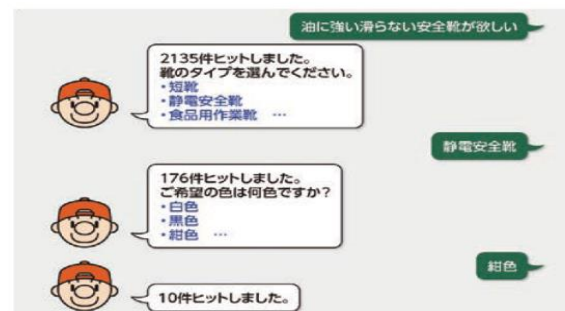


プロツールの商品検索や購入を目的とした総合サイト。商品見積・注文・返品が可能で、リアルタイムで在庫が確認できます。昨年リニューアルし、検索性や利便性が更に向上しました。

公開アイテム数: 約223万点
システム受注率: 83.7%
商品の安全データシートや図面、
含有物調査票もダウンロード可
24時間対応

トラスコ
AI オレンジレスキュー

TRUSCO
AI オレンジレスキュー



AIの学習機能を駆使した対話型商品検索サービス。問合せに対して即時の返答が可能で、自然言語や同義語、業界特有の専門用語にも対応しています。

AIコミテくん(チャットボット)の特徴
・自然言語で対応
・音声入力対応
・スマートフォンでも対応

B-⑪ 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

プライベート・ブランド商品においても新型コロナウイルス関連需要増によりマスクや保護具などの環境安全用品の売上高は増加したものの、梅雨明けの遅れや工場の稼働低下などにより、その他の商品群は売上高が減少しました。

IPB分類別売上高の主な内訳 ※その他ルートは除く 単位: 百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	19.7%	構成比	19.9%	構成比	24.8%	構成比	6.3%
	粗利率	36.4%	粗利率	36.4%	粗利率	37.1%	粗利率	31.9%
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	31,284	△5.9%	23,204	△9.6%	7,093	+7.4%	797	+12.3%
切削工具	509	△4.3%	365	△6.3%	88	+10.1%	50	△2.3%
生産加工用品	1,078	△9.2%	797	△11.5%	249	△1.4%	15	+11.3%
工事用品	2,588	△3.6%	1,902	△6.8%	630	+7.5%	44	+4.7%
作業用品	5,487	△4.4%	4,378	△6.4%	1,013	+5.6%	59	+6.1%
ハンドツール	3,190	△7.2%	2,273	△11.5%	772	+7.5%	103	+4.8%
環境安全用品	6,249	+10.1%	4,718	+4.4%	1,337	+27.2%	173	+111.8%
物流保管用品	6,981	△13.6%	4,992	△17.7%	1,631	△0.6%	326	+0.9%
研究管理用品	2,277	△16.4%	1,744	△20.0%	517	+1.2%	2	+16.5%
オフィス住設用品	2,920	△7.7%	2,032	△11.9%	852	+5.9%	17	△51.0%
その他	3	+39.5%	0	△45.5%	-	-	3	+39.5%

IPBプライベート・ブランド(PB)商品

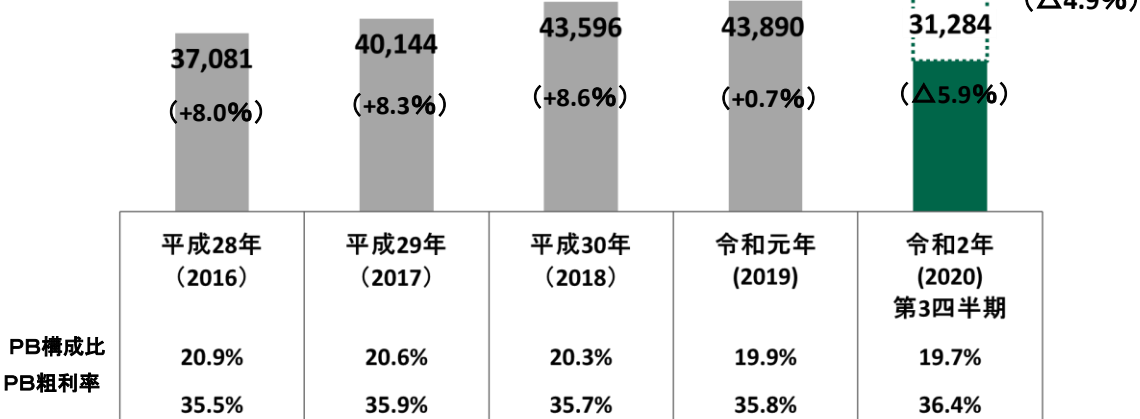


年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は19.7%を占めています。

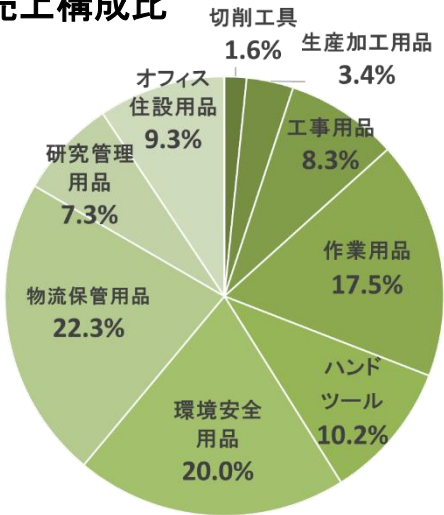


IPB商品 売上高推移 単位: 百万円

(前年同期比)

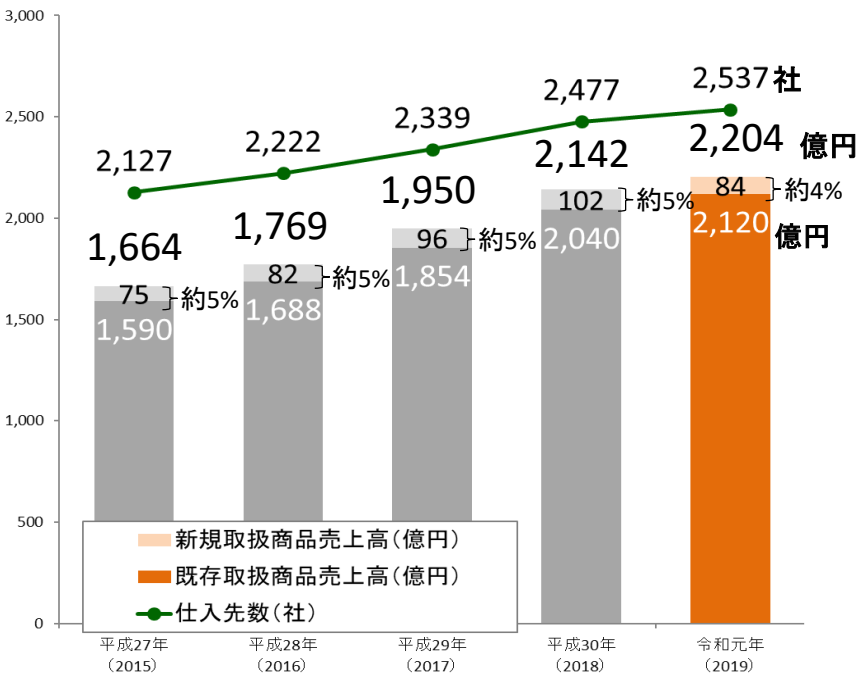


IPB売上構成比

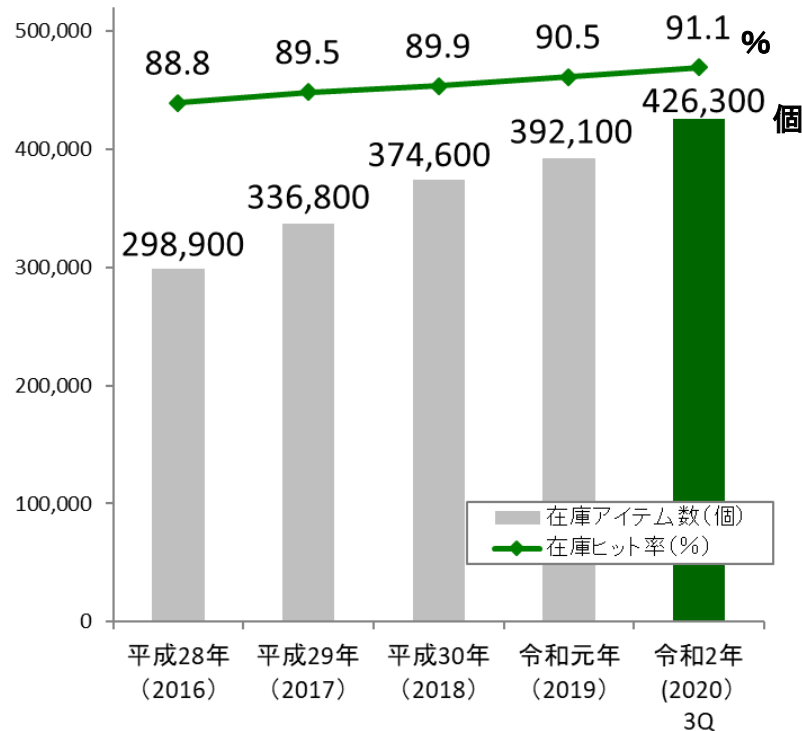


C-① 仕入先数及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

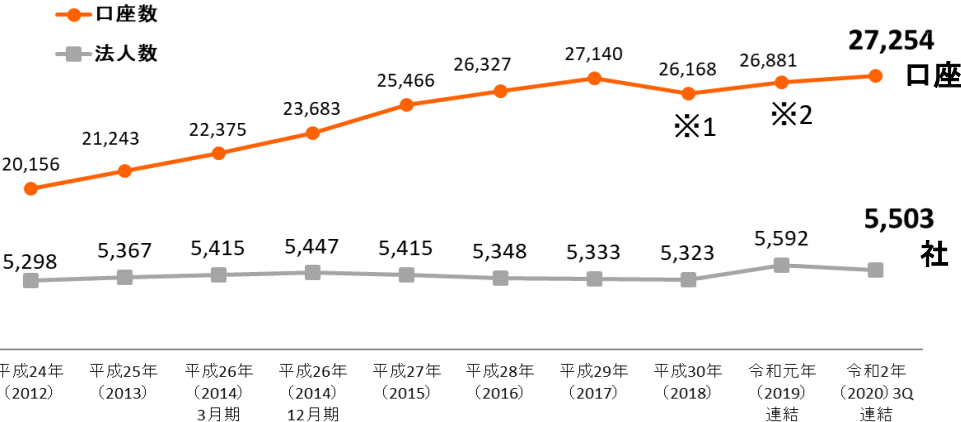
1、【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高における
トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、【連結】販売口座数及び法人数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数
アイテム数および在庫ヒット率は年々増加傾向にあります。

3、多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※1 平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

※2 令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を掲載しています。

C-② 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数

	台数	前年同期比
総配達便数	270台	△9台
備車便(契約配達便)	163台	△21台
自社配達便	107台	+12台
社内間配送便	35台	△3台
備車便(契約便)	33台	△5台
自社便	2台	+2台
配達便・社内間輸送便計	305台	△12台

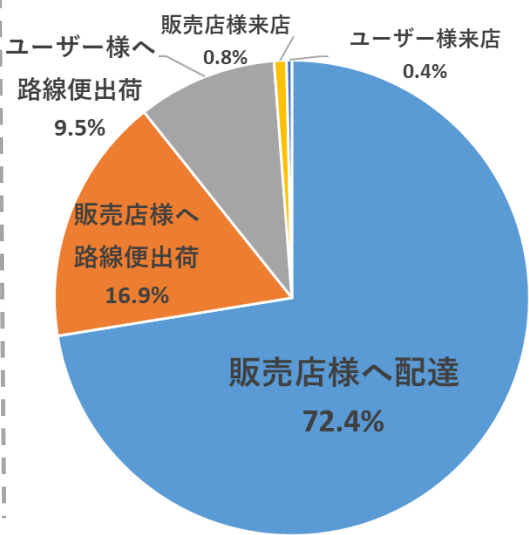
配達便について

配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間配送便の減便をすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便率は39.6%で、増加傾向にあります。今後は自社便率50%まで高めることを目標としています。

■納品区分の実績

【受注行数ベース】



C-③ 【親単体】システム稼働状況

■システム受注(FAX-OCR含む)実績

※FAX-OCR DOTKUL(ドットクル)は利用率の低下により
2023年5月にサービスを終了する予定です。

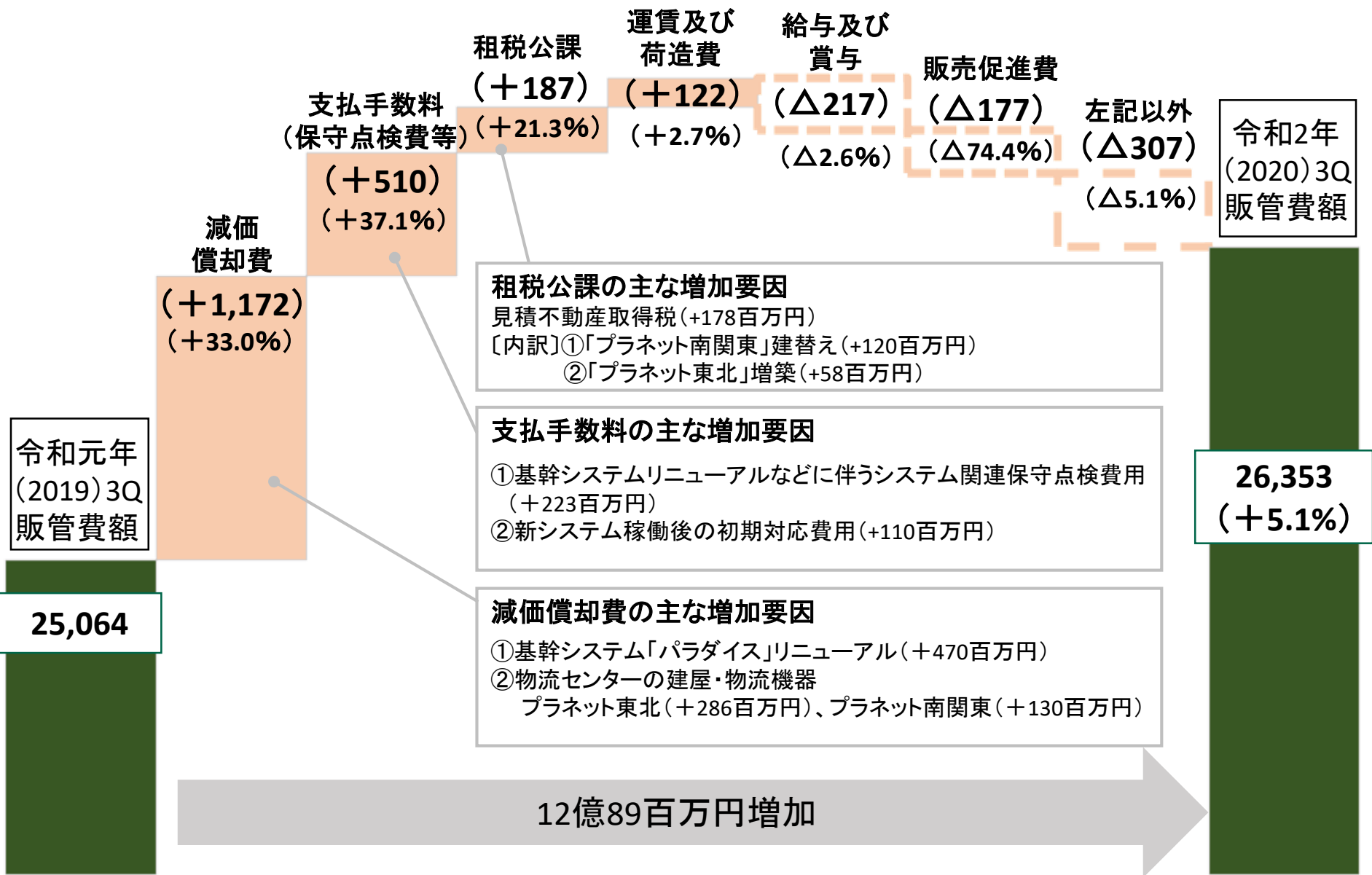
令和2年9月末時点

受注実績	受注行数 (行)	行数占有率	占有率 前年比	受注金額 (百万円)	金額占有率	占有率 前年比
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用) インターネット受発注	10,451,422	40.0%	△2.7	66,051	41.6%	△3.5
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	5,097,105	19.5%	+21.0	18,606	11.7%	+7.3
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	498,114	1.9%	+4.1	3,189	2.0%	+8.7
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	187,007	0.7%	※ △32.0	853	0.5%	※ △35.1
EOS ホームセンター電子発注システム	5,655,137	21.6%	+10.0	11,627	7.3%	+19.3
計	21,888,785	83.7%	+5.0	100,327	63.2%	+0.5

照会行数:ドットクル341件/日、WEBフリーアクセス約74,409件/日

D-① 【連結】販売費・一般管理費の主な増減内容

単位: 百万円、() 前年同期比



増減要因の詳細は次ページをご参照ください。

D-② 【連結】販売費・一般管理費

■販売費及び一般管理費の詳細

単位: 百万円、%

ー主な項目についてー () 前年同期比

		令和元年 (2019) 12月期 第3四半期		令和2年 (2020) 12月期 第3四半期		前年 増減額	前年 同期比
		実績	売上高構成比	実績	売上高構成比		
1	給 与 及 び 賞 与	8,376	5.1	8,159	5.1	△217	△ 2.6
2	減 価 償 却 費	3,551	2.2	4,723	3.0	1,172	+33.0
3	運 賃 及 び 荷 造 費	4,592	2.8	4,715	3.0	122	+2.7
4	支 払 手 数 料	1,374	0.8	1,884	1.2	510	+37.1
5	福 利 厚 生 費	1,730	1.1	1,592	1.0	△137	△ 8.0
6	租 税 公 課	877	0.5	1,065	0.7	187	+21.3
7	賞与引当金繰入額	959	0.6	962	0.6	2	+0.2
8	広 告 宣 伝 費	543	0.3	604	0.4	61	+11.2
9	消 耗 品 費	449	0.3	468	0.3	19	+4.4
10	借 地 借 家 料	499	0.3	448	0.3	△51	△ 10.3
11	旅 費 及 び 交 通 費	450	0.3	365	0.2	△84	△ 18.7
12	役 員 報 酬	326	0.2	324	0.2	△2	△ 0.7
13	通 信 費	271	0.2	291	0.2	19	+7.2
14	水 道 光 熱 費	285	0.2	276	0.2	△8	△ 3.1
15	車 両 費	176	0.1	177	0.1	1	+0.8
16	販 売 促 進 費	238	0.1	61	0.0	△177	△ 74.4
17	交 際 費	90	0.1	16	0.0	△74	△ 82.3
18	そ の 他	270	0.2	216	0.1	△53	△ 19.9
計		25,064	15.2	26,353	16.6	1,289	+5.1

- ・社員1,692名・パートタイマー1,109名
- ・社員残業代(△290百万円)
- ・パート給与及び賞与の増加(+92百万円)

- ・基幹システム「パラダイス」リニューアル(+470百万円)
- ・物流センターの建屋・物流機器
プラネット東北(+286百万円)、
プラネット南関東(+130百万円)

- ・出荷量増加等による影響(+198百万円)
- ・ユーザー直送が前年同期比13.4%増加
- ・個口出荷単価の影響(△22百万円)
- ・備車(契約配達便)減便(△149百万円)
- ・備車台数 163台(前期末比△12台)
- 【参考】自社社員配達便 107台(前期末比+9台)

- ・基幹システムリニューアルなどに伴うシステム関連保守点検費用(+223百万円)
- ・新システム稼働後の初期対応費用(+110百万円)

- ・見積不動産取得税(+178百万円)
- ・プラネット南関東建替え(+120百万円)
- ・プラネット東北増築(+58百万円)

- ・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」のサイズ変更[B5⇒A4]へのレイアウト変更作業費用(△70百万円)
- ・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」編集データ製作費用(△73百万円)

D-③ 【連結】財務諸表

貸借対照表

令和2年(2020)9月30日現在
単位:百万円、%、()前期末比

単位:百万円

資産	負債・純資産
流動資産 97,019 (+6.5) 内、在庫 42,536 (△2.6)	流動負債 36,979 (△10.6) 内、短期借入金 17,000 (-)
	固定負債 37,527 (+37.8) 内、長期借入金 35,000 (+40.0)
	純資産 130,462 (+2.3) 自己資本比率 63.6% (△1.4 pt)
固定資産 107,949 (+2.8) 内、土地 32,532 (+2.5) 建物 47,963 (+29.4)	
総資産	204,969

	令和元年(2019年) 第3四半期	令和2年(2020年) 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,708	8,779	+2,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,278	△8,061	+8,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,560	7,724	+5,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△45	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,005	8,397	+15,402
現金及び現金同等物の期首残高	12,448	18,330	+5,881
現金及び現金同等物の期末残高	5,443	26,727	+21,284

貸借対照表について

- ①在庫金額
取扱商品アイテム数は増加しておりますが、1品目当たりの在庫数においては、商品の地域特性や販売頻度を考慮し、全国の物流センターにおいて適正数量への見直しを進めています。
- ②固定資産
当社では、「持つ経営」をポリシーとしているため、事業の根幹を支える物流センター、本社ビル、支店、データセンター、自社配達便のトラック、営業車などを自社所有しています。

D-④ 【連結】設備投資等の状況

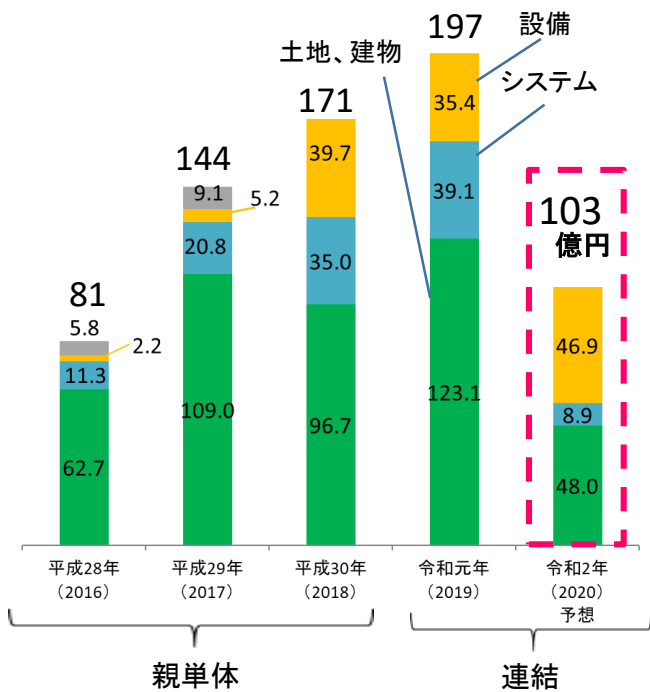
■主な設備投資の実績と予定

単位: 億円

主な設備投資 内訳		総投資 (予定)額	前期までの 実績	R3(2020) 12月期	
				1Q~3Q	4Q
				投資実績額	投資予定額
建物	ブラネット南関東 建替	87.4	74.9	10.8	1.3
	ブラネット東北 増築	40.8	31.7	9.0	-
	リゾート&スパ軽井沢 新築工事	29.2	11.9	8.1	5.9
	大阪ストックセンター(仮称) 新築	10.0	-	0.7	-
	豊橋ストックセンター テント倉庫	3.9	-	3.9	-
	その他	0.1	-	-	-
	建物合計	171.4	118.5	32.5	7.2
設備	ブラネット東北 バケット自動倉庫・SAS・GAS・オートストア・I-Pack・JFB・ハトラ等	31.0	-	25.6	-
	ブラネット南関東 バケット自動倉庫・シャトルラック・オートストア・SAS・電動パレットラック等	21.0	-	17.7	0.9
	ブラネット北関東 太陽光工事	1.2	-	1.1	0.1
	豊橋ストックセンター 運用設備	0.8	-	0.6	0.0
	各所修繕改修工事	0.7	-	0.2	-
	物流システム庫内作業可視化 ダッシュボード	0.5	-	0.5	-
	その他	0.4	-	0.2	-
	設備合計	55.6	0	45.9	1.0
システム	パラダイス(受発注システム) リプレイス	33.7	30.7	3.0	-
	SORA、Self、Zaicon2 リプレイス	9.4	7.5	2.0	-
	ブラネット南関東 マテハン導入、ネットワーク構築	1.3	-	0.9	0.3
	Oluce改修	0.5	-	0.4	-
	パラダイス(MROストック構築作業) リプレイス	0.5	-	0.2	-
	MROストック リプレイス	0.5	-	0.5	-
	フリーロケーション改善	0.2	-	0.1	-
	その他	18.0	-	0.9	0.6
	システム合計	64.1	38.2	8.0	0.9
土地	ブラネット大阪 近隣土地	5.4	0.5	4.9	-
	ブラネット東北 隣地購入	2.0	-	2.0	-
	小山支店 隣地購入	1.3	-	1.3	-
	土地合計	8.7	0.5	8.2	0.0
合計				94.6	9.1
年間設備投資金額				103.8	

■設備投資額の推移

単位: 億円



↑平成30年(2018)より「その他」に含めていた項目を設備・情報システム・建物に振り分けています。

設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は期中に変動する場合がございます。
- ・設備投資額は、キャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和2年(2020)12月期の減価償却費は65億円(前年比+16億円)を予定しております。

D-⑤ 令和2年(2020)度 主な設備投資

2020年度

プラネット東北 増築

2020年5月7日稼働

2020年1月 完成



Butler®(バトラー)
自走型搬送ロボット



オートストアを一望できる会議室



AutoStore(オートストア)
高密度ロボット収納システム

概要

- 住 所: 宮城県仙台市
- 敷地面積: 3,905坪
- 延床面積: 3,231坪(増築前)、8,591坪(増築後) 増築棟 6階建
- 投資総額: 約72億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 約11.6万アイテム
- 目標アイテム数: 40万アイテム
- 導入設備: バケット自動倉庫／オートストア／
バトラー／SAS／GAS／I-Pack

今回の増築ではオートストア、Butler®(バトラー)を導入し、会議室からオートストアを見下ろせる構造にしました。また、災害時にも必要な商品の供給を止めないため、新たに災害備蓄倉庫を設置しました。他にも108台収容可能な立体駐車場を設置し、駐車場不足の解消にも役立っています。

プラネット南関東 建替え

2020年8月17日稼働

2020年1月 完成



トラキッズいせはら(託児所)



AutoStore(オートストア)
高密度ロボット収納システム



雨天時も作業可能な
トラックバース

概要

- 住 所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,884坪
- 構 造: 地下1階(駐車場)、地上4階建、免震構造
- 投資総額: 約114億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 10.8万アイテム
- 目標在庫アイテム数: 40万アイテム
- 導入設備: バケット自動倉庫／オートストア／SAS／DAS／
電動パレットラック

当社初のダイフク製シャトルラックや当社最大規模の自動倉庫などの物流機器を導入し出荷の効率化や高密度収納を実現します。また、22mのはね出しがあるトラックバースにより雨天時の作業効率を上げるとともに、地下駐車場をトラックも入れる高さにすることで、夜間でも近隣のご迷惑にならずに出入荷可能となりました。また物流センター内に託児所を設置し、働きやすい環境を整えています。

E-① 経営計画

◆予算のたて方について

当社は10月29日に業績予想の修正を行いました。経営計画につきましても修正後の予算にて記載しております。

また、予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。

		第57期 2019年12月期					第58期 2020年12月期											
		(連結)		(単体)			(連結)					(連結)			(単体)			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	当初計画 (百万円)		構成比 (%)		前期比 (%)		修正計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	修正計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
							上限	下限	上限	下限	上限	下限						
売 上 高		220,674	100.0	220,357	100.0	102.8	225,849 ~ 198,548		100.0		102.3 ~ 90.0		211,965	100.0	96.1	211,786	100.0	96.1
	ファクトリールート	170,041	77.1	170,025	77.2	100.5	168,868 ~ 147,784		74.8 ~ 74.4		99.3 ~ 86.9		155,689	73.5	91.6	155,689	73.5	91.6
	eビジネスルート	34,492	15.6	34,492	15.7	112.2	39,488 ~ 34,880		17.5 ~ 17.6		114.5 ~ 101.1		38,270	18.1	111.0	38,270	18.1	111.0
	ホームセンタールート	14,703	6.7	14,702	6.7	109.2	16,092 ~ 14,875		7.1 ~ 7.5		109.5 ~ 101.2		16,784	7.9	114.2	16,784	7.9	114.2
	海外ルート	1,437	0.6	1,137	0.4	118.0	1,399 ~ 1,008		0.6 ~ 0.5		97.4 ~ 70.2		1,220	0.6	84.9	1,041	0.5	91.6
1日当たり売上高		-	-	937	-	105.0	-		-		-		-	-	-	886	-	94.5
プライベート・ブランド商品売上高		-	-	43,890	19.9	100.7	-		-		-		-	-	-	41,760	19.7	95.1
実働稼働日数		-	-	235日	-	△5日	-		-		-		-	-	-	239日	-	+4日
売 上 総 利 益		47,034	21.3	46,856	21.3	103.0	48,464 ~ 42,760		21.5 ~ 21.5		103.0 ~ 90.9		46,170	21.8	98.2	45,994	21.7	98.2
ファクトリールート		35,390	20.8	35,390	20.8	100.7	35,249 ~ 30,986		20.9 ~ 21.0		99.6 ~ 87.6		33,028	21.2	93.3	33,028	21.2	93.3
eビジネスルート		8,657	25.1	8,657	25.1	111.9	9,968 ~ 8,816		25.2 ~ 25.3		115.1 ~ 101.8		9,774	25.5	112.9	9,774	25.5	112.9
ホームセンタールート		2,577	17.5	2,577	17.5	107.1	2,838 ~ 2,626		17.6 ~ 17.7		110.1 ~ 101.9		2,975	17.7	115.5	2,975	17.7	115.5
海外ルート		409	28.5	230	20.3	118.7	407 ~ 330		29.1 ~ 32.8		99.6 ~ 80.9		391	32.1	95.8	215	20.7	93.6
販売費及び一般管理費		33,237	15.1	32,934	14.9	105.8	35,823 ~ 35,123		15.9 ~ 17.7		107.8 ~ 105.7		35,122	16.6	105.7	34,864	16.5	105.9
営 業 利 益		13,797	6.3	13,921	6.3	96.9	12,640 ~ 7,636		5.6 ~ 3.8		91.6 ~ 55.3		11,048	5.2	80.1	11,130	5.3	79.9
経 常 利 益		14,197	6.4	14,302	6.5	97.7	13,000 ~ 7,996		5.8 ~ 4.0		91.6 ~ 56.3		11,412	5.4	80.4	11,484	5.4	80.3
当 期 純 利 益		9,613	4.4	9,715	4.4	99.9	8,952 ~ 5,499		4.0 ~ 2.8		93.1 ~ 57.2		7,850	3.7	81.7	7,925	3.7	81.6
1株当たり当期純利益		145円 78銭	-	147円 32銭	-	△12銭	135円 75銭 ~ 83円 39銭		-		△10円 3銭 ~ △62円 39銭		119円 04銭	-	△26円 74銭	120円 18銭	-	△27円 14銭
1株当たり配当金		36円 50銭	-	-	-	-	34円 00銭 ~ 21円 00銭		-		△2円 50銭 ~ △15円 50銭		30円 00銭	-	△6円50銭	-	-	-
発行済株式		66,008,744	-	-	-	-	66,008,744		-		-		66,008,744	-	-	-	-	-
PB在庫アイテム数		50,800	-	-	-	-	57,600		-		113.4		57,600	-	113.4	-	-	-
商品在庫金額		43,653	-	42,781	-	115.6	48,809		-		111.8		43,844	-	100.4	-	-	-
社員数(役員含む)		1,656	-	-	-	-	1,695		-		102.4		1,695	-	102.4	-	-	-
パートタイマー人数		1,128	-	-	-	-	1,148		-		101.8		1,148	-	101.8	-	-	-
システム受注率		83.1%	-	-	-	-	85.0%		-		-		85.0%	-	-	-	-	-
在庫ヒット率		90.5%	-	-	-	-	91.0%		-		-		91.0%	-	-	-	-	-
ROE		7.5%	-	-	-	-	6.7% ~ 4.2%		-		-		5.9%	-	-	-	-	-
減価償却費		4,876	-	-	-	-	6,515		-		133.6		6,528	-	133.9	-	-	-

この経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

参考資料①－株式情報

株主情報

	平成29年 (2017) 12月末	平成30年 (2018) 6月末	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 6月末	令和元年 (2019) 12月末	令和2年 (2020) 6月末
株主合計	25,365	16,719	29,997	19,776	40,106	23,697
単元株主	24,757	16,037	29,408	19,054	39,494	22,887
単元未満株主	607	681	588	721	611	809
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	71	66	63	73	61	64
国内法人	628	566	657	563	690	574
外国法人等	198	203	228	210	252	210
個人その他	24,467	15,883	29,048	18,929	39,102	22,848
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

単位:名

- ・8月21日に株主優待廃止についてのお知らせを開示しました。
- ・配当性向は25%を維持しています。

ROE推移

単位: %

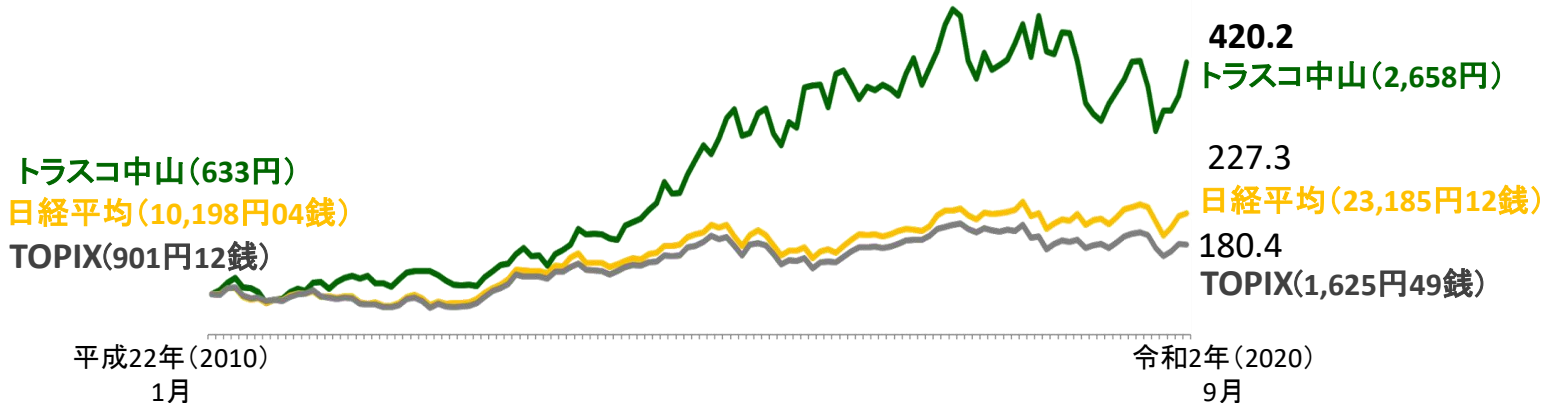
	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020) 予想
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	5.9

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切にし、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2020年10月27日(火)

当社株価 終値
2,786円

日経平均株価 終値
23,485円80銭

TOPIX 終値
1,617円53銭

参考資料②－業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。
当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

単位:百万円、%、敬称略

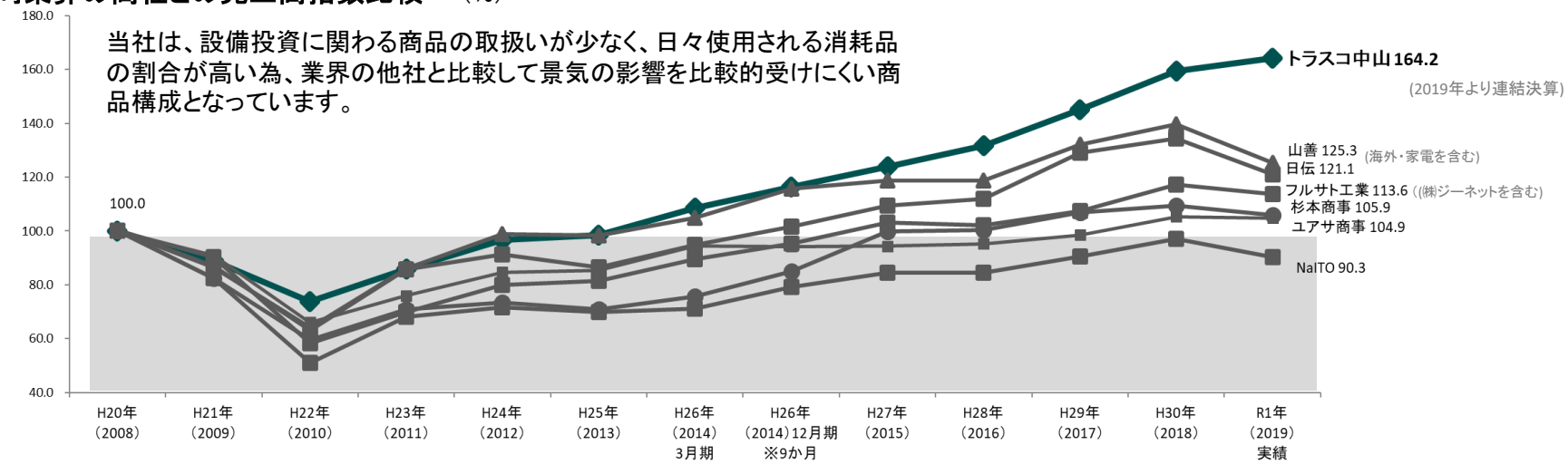
卸売	実績				時価総額 (億円)
	年	決算月	売上高	前年比	
(株)山善	2019	3月	472,191	△ 10.3	1,019
ユアサ商事(株)	2019	3月	491,348	△ 0.5	717
(株)日伝	2019	3月	112,334	△ 9.8	702
フルサト工業(株)	2020	3月	104,619	△ 3.0	200
(株)NaITO	2020	2月	46,467	△ 7.1	90
杉本商事(株)	2020	3月	43,890	△ 3.4	224
トラスコ中山(株)	2019	12月	220,674	+ 3.0	1,839
7社合計			1,491,523	△ 4.5	4,791

単位:百万円、%、敬称略

小売	実績				時価総額 (億円)
	年	決算月	売上高	前年比	
(株)ミスミグループ	2020	3月	313,337	△ 5.6	8,549
(株)MonotaRO	2019	12月	131,463	+ 20.0	13,584
2社合計			444,800	+ 0.7	22,133

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和2年(2020)10月27日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

■同業界の商社との売上高指数比較 (%)



※指数基準:平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和2年(2020)5月7日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料③－【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の計画

令和2年(2020) 12月期【四半期】

単位: 百万円、%

		第1四半期（+1日）			第2四半期（+2日）			第3四半期（+1日）			第4四半期（±0日）		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	予算	56,960	100.0	+2.1	57,114	100.0	+ 6.2	57,421 ~ 44,771	100.0 100.0	+ 4.7 ~ △ 18.4	53,211	100.0	△ 5.4
	実績	57,493	100.0	+3.1	50,919	100.0	△ 5.3	50,340	100.0	△ 8.2			
売上総利益	予算	12,258	21.5	+2.2	12,485	21.9	+ 6.3	11,748 ~ 9,163	20.5 20.5	+ 4.1 ~ △ 18.8	11,678	21.9	△ 2.8
	実績	12,556	21.8	+4.7	11,338	22.3	△ 3.4	10,597	21.1	△ 6.1			
販売費及び一般管理費	予算	9,209	16.2	+9.9	8,899	15.6	+ 6.0	9,054 ~ 8,713	15.8 19.5	+ 9.3 ~ + 5.1	8,768	16.5	+ 7.3
	実績	9,218	16.0	+10.0	8,514	16.7	+ 1.4	8,620	17.1	+ 4.0			
営業利益	予算	3,048	5.4	△15.7	3,587	6.3	+ 7.2	2,693 ~ 449	4.7 ~ 1.0	△ 10.2 ~ △ 85.0	2,909	5.5	△ 24.2
	実績	3,337	5.8	△7.7	2,824	5.5	△ 15.6	1,976	3.9	△ 34.1			
経常利益	予算	3,110	5.5	△15.3	3,648	6.4	+ 6.4	2,748 ~ 504	4.8 ~ 1.1	△ 10.7 ~ △ 83.6	2,952	5.5	△ 26.5
	実績	3,384	5.9	△7.8	3,015	5.9	△ 12.1	2,059	4.1	△ 33.1			
親会社株主に帰属する 当期純利益	予算	2,117	3.7	△15.5	2,478	4.3	+ 7.7	1,895 ~ 347	3.3 ~ 0.8	△ 8.4 ~ △ 83.2	2,135	4.0	△ 22.0
	実績	2,321	4.0	△7.4	2,012	4.0	△ 12.6	1,380	2.7	△ 33.3			

※予算に関しては第1四半期、第2四半期は期初予算、第3四半期は令和2年8月3日発表の修正予算、第4四半期は10月29日発表の修正予算にて記載しています。

令和2年(2020) 12月期【累計】

単位:百万円、%

		第1四半期（＋1日）			第2四半期（＋3日）			第3四半期（＋4日）			通 期（＋4日）		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	56,960	100.0	+2.1	114,074	100.0	+4.1	165,835 ～	100.0 ～	+ 0.9 ～	211,965	100.0	△ 3.9
	実績	57,493	100.0	+3.1	108,413	100.0	△1.1	153,185 158,753	100.0 100.0	△ 6.8 △ 3.4			
売上総利益	予算	12,258	21.5	+2.2	24,743	21.7	+4.2	35,643 ～	21.5 ～	+ 1.8 ～	46,170	21.8	△ 1.8
	実績	12,556	21.8	+4.7	23,894	22.0	+0.7	33,058 34,491	21.6 21.7	△ 5.6 △ 1.5			
販売費及び一般管理費	予算	9,209	16.2	+9.9	18,108	15.9	+7.9	26,788 ～	16.2 ～	+ 6.9 ～	35,122	16.6	+ 5.7
	実績	9,218	16.0	+10.0	17,733	16.4	+5.7	26,447 26,353	17.3 16.6	+ 5.5 + 5.1			
営業利益	予算	3,048	5.4	△15.7	6,635	5.8	△4.7	8,855 ～	5.3 ～	△ 11.1 ～	11,048	5.2	△ 19.9
	実績	3,337	5.8	△7.7	6,161	5.7	△11.5	6,611 8,138	4.3 5.1	△ 33.6 △ 18.3			
経常利益	予算	3,110	5.5	△15.3	6,758	5.9	△4.8	9,149 ～	5.5 ～	△ 10.1 ～	11,412	5.4	△ 19.6
	実績	3,384	5.9	△7.8	6,400	5.9	△9.9	6,905 8,459	4.5 5.3	△ 32.2 △ 16.9			
親会社株主に帰属する 当期純利益	予算	2,117	3.7	△15.5	4,595	4.0	△4.4	6,229 ～	3.8 ～	△ 9.4 ～	7,850	3.7	△ 18.3
	実績	2,321	4.0	△7.4	4,333	4.0	△9.9	4,681 5,714	3.1 3.6	△ 31.9 △ 16.9			

※予算に関しては第1四半期、第2四半期は期初予算、第3四半期は令和2年8月3日発表の修正予算、第4四半期は10月29日発表の修正予算にて記載しています。

参考資料④－会社データ

■社員数【連結】 令和2年(2020)9月末現在 単位:人

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	11	12	+0
執行役員	0	2	0	+0
キャリア	188	437	625	+2
エリア	271	305	576	+4
サポート	25	3	28	△4
スペシャリスト	15	14	29	△3
ロジス	78	273	351	+8
契約社員	1	36	37	+7
現地法人	20	22	42	+1
健康保険組合出向者	1	1	2	+0
中山財団出向者	0	0	0	+0
社員計(役員含む)	599	1,093	1,692	+15
パート	837	272	1,109	△7
従業員計	1,437	1,376	2,813	+8

女性社員比率35.4%／女性セールス79人／
女性キャリア比率31.4%(男性40.0%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く 単位:人、%

	平成28年 (2016)【親単体】		平成29年 (2017)【親単体】		平成30年 (2018)【親単体】		令和元年 (2019)【連結】		令和2年(2020) 9月末【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	512	959	510	1004	557	1,051	585	1,071	599	1,093
	1,471		1,514		1,608		1,656		1,692	
入社者	70	33	59	67	63	72	52	57	41	44
	103		126		135		109		85	
退職者	20	18	18	18	20	26	42	44	28	23
	38		36		46		86		51	
離職率	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9	4.5	2.1
	2.5		2.3		2.8		4.9		2.9	

■倒産による回収不能金額 単位:万円

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020) 3Q
回収不能金額 (万円)	0	35	0	4	0	0

■平均年齢・年収 単位:歳、万円

	平均年齢			平均年収			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和元年 (2019)	31.3	42	38.2	758	642	492	655
平成30年 (2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701
平成29年 (2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	541	715
平成28年 (2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	519	674
平成27年 (2015)	30.9	43.3	39.6	727	630	535	660

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与廃止のため減額。
※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。

■拠点数【連結】 令和2年(2020)9月末現在

本社	2か所
支店	67か所
物流センター	17か所
海外拠点	3か所
ストックセンター	9か所
合計	98か所

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
廃棄金額(百万円)	50	32	41	39	42
在庫金額(億円)	250	290	318	370	427
廃棄率(%)	0.20	0.11	0.13	0.11	0.10

■当社売上高指数及び鋳工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする
※鋳工業生産指数は令和2年(2020)1月31日に経済産業省より公表された数値

(連結決算)